



2020年版 グリーン・ウォッチについて 「自分事としてとらえて行動を！」

グリーン連合 共同代表
NPO法人環境文明21 代表
藤村コノエ

1. グリーン連合とは



2015年6月5日設立された、

日本の環境NPO／NGOの連合組織

現在81団体

【目的】

様々な環境問題を克服し、「環境」を基軸とした

民主的で公正な持続可能な市民社会を築く為に、

互いにつながり結集して、強く政治や社会に働きかける！

2. グリーン・ウォッチ(市民版環境白書2020)

【目的】

1. 政府と異なる視点から、日本の環境の現状、環境政策の課題や問題点を指摘する

← 政府の環境白書が、国民の認識や評価を間違った方向に誘導する可能性や中長期的観点から国益に繋がらないと思える重要事項を見逃せず…

2. NPO/NGOの考え方や活動を知って頂き環境問題への関心を高め、市民の参加や行動を促す



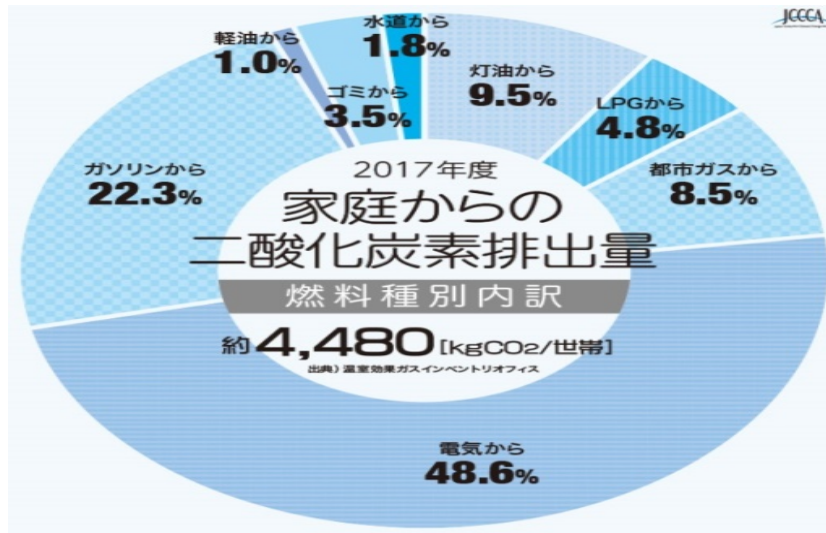
3. 2020年版の特徴

- 気候変動、再生可能エネルギー、化学物質、福島に加え、生態系・熱帯林の危機についての現状と課題
(第2章)
- 若者や自治体の国内外の新たな動きを紹介(各章)
- 欧州における環境NGOの位置づけと公的資金
- 「はじめに」では、気候変動、プラ問題を例に、全ての環境問題解決には、私たち市民の行動と併せて社会・経済の大変革が必要なことを提示
- それは、今回の新型コロナ感染問題にもつながる

◎無意識のうちに環境負荷を増大させる生活をしている私たち！！

【電気の使用】

- ・家庭からのCO2排出量のほぼ半分は電気



- ・日本全体では化石燃料による火力発電が8割
➡ 電気の使用により間接的に大量のCO2排出

◎電気も元をたどれば様々な環境負荷を与えている

【暮らしや経済活動に欠かせないプラスチック】

- ・世界で毎年4億tが生産→910万tが海洋汚染原因

- ・日本人一人当たり 年間約70kgを消費

➡ ポイ捨てで、町を、川を、海を汚している

- ・原料は石油 ➡ 気候変動問題

- ・化学物質を可塑剤として多用 ➡ 化学物質問題

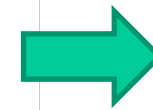
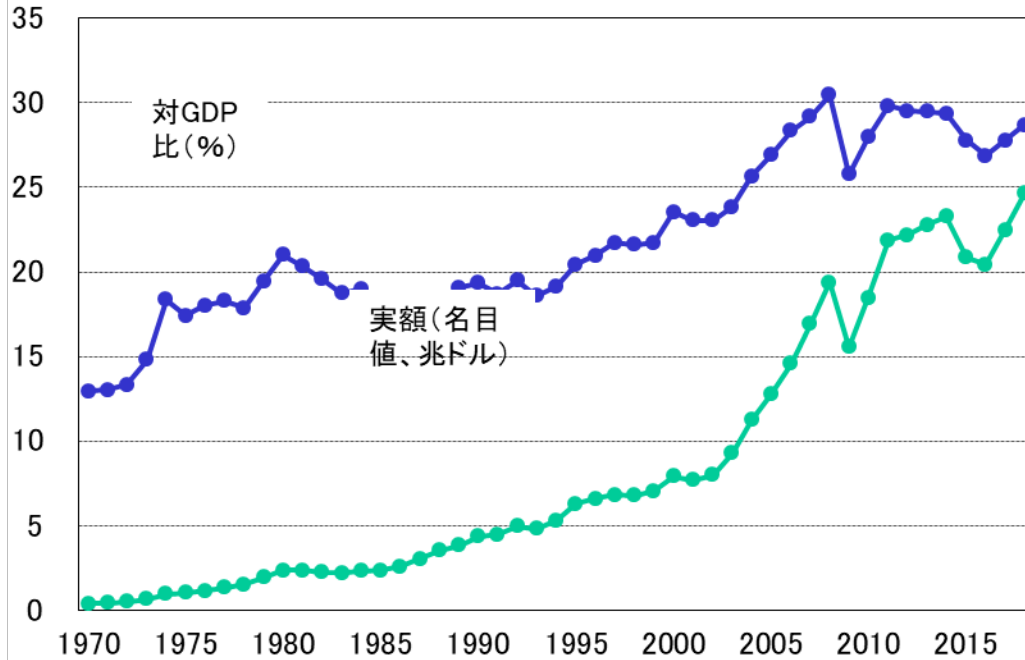
◎無意識のうちに使っているプラも、様々な環境問題の原因になっている

「もっと便利に、もっと豊かに」の、

私たちの暮らし方や価値観を変える！！

◎拡大・成長を基本とする今の社会・経済が有限な地球環境を破壊している

世界の貿易額(財・サービスの総輸入額)の推移



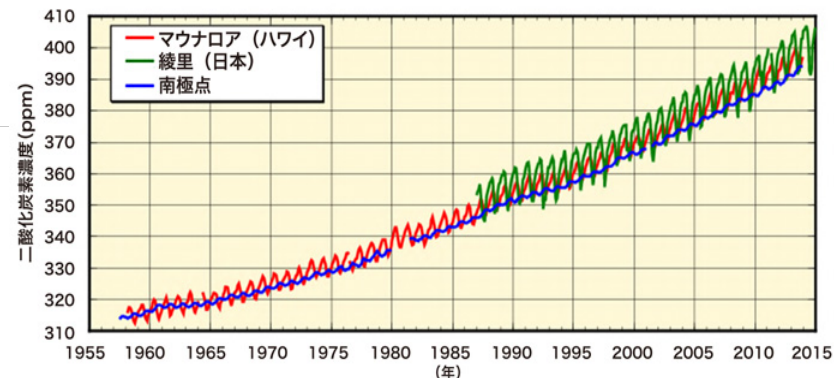
物流・経済規模の拡大



エネルギー消費拡大



大気中の二酸化炭素濃度の経年変化



- ・世界の富豪トップ26人が、
世界で所得が最も低い約38億人の総資産と同額を保有
(国際NGOオックスファム2019年レポートより)
➡ 現在の経済システムは環境問題だけでなく、
格差を生み、トリクルダウンはあり得ない

◎大きな資本や権力と結びついた技術は、
環境負荷も大きい 例：リニア新幹線

拡大・成長の社会・経済から持続可能なものへ
技術の開発・利用の可否についても議論を

気候変動等環境問題とコロナ、 根は同じ！！

①原因・・・過度な人間の欲望がもたらした
過度なグローバル化と土地開発

	気候変動	新型コロナ
グローバル化	エネルギー消費 増	人の往来 増・急激
土地開発	CO2吸収源 減	未知のウイルス出現

②対策が遅れれば遅れるほど、被害は拡大

③被害は、貧しい人や国に大きくのしかかる

④生命よりも経済を優先する現代の政治・社会

⑤市民も社会の一員であることを忘れがちである

環境文明21会報「環境と文明」

2020年4月号参照

• <http://www.kanbun.org/kaze/2004.html>

「自分事として考えて、行動を」

◎解決に向けて、私たちの行動や価値観、そして
経済や社会の仕組みを変えていく

特に今は、

➡️コロナ対策を脱炭素社会づくりにつなげる

政治家や専門家に任せておけばいいのか？

◎私たち自身が自分事としてとらえて、行動していく
＝市民力、自治力を高めていく

第1章 脱炭素社会に向けた最近の動向

第1節 「気候変動」から「気候危機」問題へ

第2節 持続可能なRE100%社会の実現

第2章 生物多様性、そして森林の危機

第1節 IPBESの活動、成果とその日本への示唆

第2節 世界の森林と私たち

第3章 化学物質

第1節 環境ホルモンの脅威に改めてどう対応すべきか

第2節 環境省「子どもの健康と環境に関する全国調査
(エコチル調査)」の進捗状況と今後の課題

第4章 福島の後

第1節 蓄積する課題にどう向き合うか

(廃炉、放射性物質の量と行方)

第2節 福島の住民の後

参 考 欧州における環境NGOの位置づけと公的資金

活動報告 グリーン連合のこの一年の活動実績

現場を熟知し活動するNPO、研究者として、
政府とは異なる見解を伝え、
政策転換の方向性を提案する